

# 平成27年度 自己評価報告書

中川学園調理技術専門学校

# 学校の教育目標

## 学校の教育理念・目標

☆本校の基本方針は「率直かつ明朗な人間関係を基盤とし、調理師資格保持者にふさわしい教育を行う」ことである

☆学生は“自主” “自律” “自信”を目標とし、自らの考えで知識と技術の習得に励み、自らの気力を持って自身の生活を築き、自らを信じて人生を歩み出せるようにする。

☆育成する人物像

社会人として調理師という職業にふさわしい人格と知識及び技能の習得を自らすすんで努力する人。

## 平成 27 年度の重点目標

### 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

☆中途退学者への早期対応

- ・欠席者への早期対応と個人面談の充実を重点とし、保護者へ早期の連絡を行い、学校及び家庭での学習環境を整える。

☆就職のための指導強化。

- ・夢や希望だけでなく労働条件などを比較できる就職の選定能力を身につけさせる指導を行う。幅広い選択肢（企業等）を学生に提示し、本人の意思を最大限尊重した企業や店舗に就職させる。

# 1 教育理念・目的・人物育成像

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
本校の 独自性	教育方針（理念、目的、育成すべき人材像）が明確に定められている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育方針は学則・内規に記載されている。また、年頭や新年度頭書の学校長訓示により、教育方針の再確認を行っている。また年度ごとの教育目標も定め周知している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度、保護者への連絡通知（保護者宛てに郵送）を徹底したことで学校行事のイベント参加率はアップした。</li> <li>学校内での学生の活動の様子を保護者に見せる機会を行事として実施する。毎年実施している学園祭や保護者招待レストランの他、保護者の参加行事を検討する。狙いは保護者からの感想や意見を取り入れることである。</li> <li>教育方針を踏まえた学生指導については、細則を策定し、教職員が統一した見解と指導方法を実践していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生、保護者、学校の三位一体のぶれない教育環境を作ること重要な課題としている。</li> <li>オープンキャンパスにおいても保護者、新入学予定生に丁寧な説明を実施している。本校の教育理念、方針、試験等の具体的な説明している。</li> <li>本校の教育理念や方針を、学生だけでなく、保護者にも共通の認識を得る努力している。そのため、入学前の学校見学会において、付添で来た保護者対象に学校の基本方針を説明している。</li> </ul>
	教育方針（理念、目的、育成すべき人材像）が教職員、学生、保護者に良く浸透している。	A Ⓑ・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学直前に保護者と新入生に向けた説明会を実施している。本校の教育理念、方針、試験等の具体的な現状を校長自らが伝え、その上で入学前に最終入学意思を確認し、本校就学に対する意識と保護者の理解を得る努力をしている。</li> <li>入学後すぐの新入生オリエンテーションにおいて、学則、内規の説明の時間を取っている。</li> </ul>		
	教職員が教育方針（理念、目的、育成すべき人材像）を踏まえた学生指導をしている。	A Ⓑ・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員に学校評価アンケートを実施したところ適切、やや適切と答えた職員が100%であり、教職員自身は教育方針を遵守し学生指導していると認識している。学生指導方法には、まだまだ改善の余地があり部、科単位で指導方法を検討していく。</li> </ul>		
	本校が社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いた活動をしている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校では、各種の企業や団体と連携を取っており、また意見交換会も行っている。常に業界に目を向けた対応をしている。</li> </ul>		
	在校生、卒業生が学校に誇りを持っている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校を来訪する卒業生は多い。そこから就職先や現場での近況をうかがい知ることができる。その中でも、他校出身との比較になることがあるが、よく本校での教育が生きていることを耳にする。</li> <li>研修先等で、本校の評価を頂くことがあるが、高い評価を頂くことが多い。首都圏の店舗や企業で実施する場合は他校との比較になることがあり、高い評価を学生に伝えていることもありそれが学生の自信につながっている。</li> </ul>		

# 2 学校運営

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
運営方針	運営方針が策定されている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人設立時から「調理師資格保持者にふさわしい教育」を教育理念とし、基本に健全な学校運営委を心がけている。毎年、年度初めの全体会議において、校長より「年度運営方針」をきちんと打ち出し明確にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムにおいては現行のシステムが不十分であるために、整備を進めており、他のシステムを使う事も検討し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度より職業実践専門課程の認定を受けそれに伴う情報公開をしている。</li> </ul>

	運営方針に沿った事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人としては、評議員会、理事会において明確な事業計画を策定し承認を得て遂行している。</li> <li>学校運営としては、年間の学校行事予定の他、授業カリキュラムも運営方針に沿った形で構成し、実践している。</li> </ul>	<p>ている。次年度より本格導入予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他部署間の連携は、不足していると思われる。今後、連携できる組織づくりを検討していく。</li> <li>SNSをつかうことにより、個人情報の流出の恐れがあり、その使い方の徹底と利用方法を確立する。</li> <li>個人情報の保護のガイドライン及び個人情報漏えいの罰則規定についての検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「開かれた学校」をめざし、学校の状況を保護者だけでなく地域社会などにホームページやメディアを通じて絶えず発信している。</li> <li>毎年行われる年度末の「学園祭」において、昨年より各家庭に招待通知を郵送にて配布し、学校への来校を促した。発送したことでかなり多くの保護者の来校が増えた。また、その際に地域住民にも学園祭参加の連絡をしており、近隣の店舗や住民にも強力、理解を得ている。</li> <li>平成28年度に本棟の一部改修工事が行われている。工事関係者と本校職員で定期的に会議が行われ進捗状況を確認している。改修を行いながら修繕箇所が発生した場合は、速やかに対処している。</li> <li>毎年、消防署員立会いの総合防災避難訓練を実施している。</li> </ul>
	運営組織や意思決定機能は、明確化されている。また有効に機能している	A Ⓑ C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織図の通り、意思決定機能明確になっている。その中で、本校の指導的な職員で構成する指導部会議を定期開催し、そのなかで組織整備をはじめ各種の課題について討議・検討している</li> </ul>		
	人事・給与に関する規定は整備されている。	A Ⓑ C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業規則にある通り整備されている。</li> </ul>		
	教務内容（学科・実習等）や財務（教材費・備品等）の組織整備など意思決定システムは整備されている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導部会議において、教務や財務の内容の検討も行われている。</li> <li>不足備品等が発生した場合などの整備にもいち早く対処している。</li> </ul>		
教職員連携	教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動がなされている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員間の連携が取れている。部内の業務連絡は密にとれている。毎日朝礼、終礼等で各人、各クラス、各部署の報告がなされている。</li> </ul>		
	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	Ⓐ・B・C・D・E			
情報公開	学校ホームページで可能な範囲の情報を公開している。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事活動等においては、ホームページ上で公開し、情報公開している。</li> </ul>		
	保護者などへの授業を公開している。および、保護者と適切に連携している	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者を招いての学生レストランを実施している。保護者をはじめ、高校の先生や来賓等、来校頂いた参加者には大好評をいただいている。</li> </ul>		
	地域や地域住民との交流が来ている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>学園祭では、毎年1000名を超える地域住民の方に多数御来場頂いている。地域の美化活動を実施した事もある。</li> </ul>		
危機管理	危機管理、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が事故や問題行動を起こした時は、初期対応では近くにいる職員が対応し、すぐに管理職員に報告し状況判断して迅速な対応している。</li> <li>毎年、水戸消防署と連携した総合避難訓練を実施している。</li> </ul>		
	職員は、校舎内外の施設設備を定期的に点検し、結果を的確に処理・報告（整備・保全）している。	A Ⓑ C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設は、常に整備点検している。異常が発見された時は、管理職員に報告し迅速に対応している。</li> </ul>		
	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。危機管理マニュアルを理解している。	A Ⓑ C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災マニュアルを作成しており、緊急時の指示系統も明示している。</li> </ul>		

	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの個人情報のセキュリティーは、専門の業者に委託してあり万全である。</li> <li>・書類の情報管理は、所定の処理箱に保管し専門業者に委託して処分している。</li> </ul>		
--	----------------------------	--------------------	--	--	--

### 3 教育活動

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
教育課程 (カリキュラム)	学科等の授業計画を各教科別に策定している。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育目標に合致した教育が行われており、教員資格については、設置基準に定められているものを遵守している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業年限の短い職員の離職があり、中堅クラス以上に負担がかかっている。そのため、次世代の教員育成に力を入れている。</li> <li>・学校内外でも若手職員の研修を行っているが、学校の行事や通常職務のためタイミングを合わせなければ職業能力研修の参加がむずかしい。</li> <li>・校内職員研修会を実施している。現在は外部講師による研修会定期開催しており、ゆくゆくは研修会の中で時間を取り各職員の研修や勉強成果の発表を行うことを目標としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のニーズに概ね応えられている。「調理師」の資格は、「調理師法」の規定に基づき付与されるものであり、調理技術を第一としたものではないため、受け入れる業界が期待するものとは一致しない。しかも求人先企業からは即戦力的な要望が多く、期待に応えられる学生の育成は課題が多いが、過去の経験を活かした教育により対応している。</li> <li>・入学審査・進級審査・在籍状況・出欠管理・成績管理・卒業審認定は厳密に行い、そのための会議を行い、学則内規に照らし合わせ厳格に判断している。年度ごとに、保管管理している。</li> </ul>
	キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の見直しが行われている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内でカリキュラム編成チームを作り、指導基準に合ったカリキュラムの作成をしている。</li> <li>・教育課程編成委員会において、本校外部の飲食業界の方の意見も取り入れ授業の編成を行っている。</li> </ul>		
	実践的な職業訓練(産業連携によるインターンシップ、実技実習等)が行われている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップは独自プログラムで実施している。</li> </ul>		
	授業評価の実施、評価体制がある。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位取得、進級判定の基準は明確である。単位未修得になり得る可能性のある学生には、事前に本人への指導を徹底している。また保護者にもきちんと通達し、事前に面談している。</li> </ul>		
	成績評価、単位認定、進級、卒業は明確である。	<b>A</b> ・B・C・D・E			
	関連分野における業界との連携においてすぐれた講師等を確保するなどのマネジメントが行われている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各方面で活躍している外部講師を招聘している。調理・製菓実習分野だけでなく、学科の講師の確保にも尽力している。</li> </ul>		
教員研修 ・資質向上	関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修が行われている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業との連携にも力を入れており、店舗実習はもちろんのこと、講師として演習や講義を通して指導して頂いている。各学生の評価表も頂いている。</li> </ul>		
	教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員研修においては、職員への研修の積極的参加を促し、教員の視野を広げるとともに、それを、本校学生への指導という形で還元させている。</li> </ul>		
	教員の能力開発のための研修が行われている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E			

	教員の研修・研究した成果を他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	A・ <b>B</b> ・C・D・E			
--	------------------------------------	--------------------	--	--	--

## 4 学修成果

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
進路指導	就職率の向上が図られている	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職指導では、職種の形態や福利厚生など仕事内容のみならず、継続して勤務できる情報を与える授業や活動を行っている。</li> <li>在校生に対して卒業生OBやOGが現在の勤務内容の説明を行い、就業への見解を深めている。</li> <li>就職の際によく、企業の特性や勤務体系等を見極めさせる。その企業の特性を理解させる店舗研修等に行かせることで自分の特性に合うか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退学者の数は減ってきているが、ゼロではない。さらなる対策を検討する。</li> <li>本校では卒業後の1年以内の離職率は比較的低いがさらなる低減を目指す。</li> <li>調理師資格取得及び就業意欲が不明確なものが入学してきた場合、当然退学者が増える。入学後にギャップを極力感じさせない事前説明等に努力をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職希望者には、本人の資質に合った就職先を提案している。名声や条件よりも本人が長く、楽しく働ける職場環境を提案し、就業できるように職員も努力しているため、短期離職者が少なく、他校との比較においては企業から評価されている。</li> <li>事前のオープンキャンパス等で調理師及び本校の特性を十分に説明し、意思決定させて入学させている。入学後は、学生個々に応じた対応をしている。</li> </ul>
	各学生のニーズに合った就職先の選定を行なっている。	<b>A</b> ・B・C・D・E			
	就職先の形態や企業情報などの情報を掌握できるキャリア教育（学生指導）を行っている	<b>A</b> ・B・C・D・E			
生活指導	退学率の低減が図られている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>無断欠席者や3日連続欠席者には、担任より声掛けをし、早期に状況を把握し保護者との確認を取る。</li> <li>生活態度が不良になりそうな者には、事前に生活態度を見直すよう伝え悪化しないよう指導している。また、近年、著しく生活態度が悪い者は減少している。</li> </ul>		
	出席状況不良の学生に早期に対応している。	<b>A</b> ・B・C・D・E			
	生活態度不良、内規違反の学生に早期に対応している。	<b>A</b> ・B・C・D・E			
社会的ニーズ	卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握している	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校を来訪する卒業生は多い。その際に卒業生の情報を入れるようにしている。また、卒業生が開店、開業する際はお祝いを送っている。</li> <li>各企業で中堅の役割を担っている卒業生が来校した時は、学生の前で仕事内容ややりがいなどを話してもらっている。</li> </ul>		
	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E			
	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されている。	<b>A</b> ・B・C・D・E			
学修成果の確認方法	実技試験・学科試験の合格基準を明確である。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験、学科試験共に合格基準を明確にしている。複数の職員で試験結果を確認し、合否判定をしている。</li> <li>毎回、試験の合格者数、平均点等は算出しているが、毎回同じ難易度、条件であるわけではないので参考程度としている。</li> </ul>		
	実技試験・学科試験等の前年度との比較を行っている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E			

	全国試験等での全国平均点数と本校の点数の比較を行っている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E	・技術考査を毎年本校の学生も受験している。平均点と比較し本校の学生が上回っていることを確認している。		
--	-------------------------------	--------------------	--	--	--

## 5 学生支援

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
学生相談	学生が教職員に相談できる体制は整備されている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	・最低年2回はクラス担任と二者面談を行っている。その他にも適宜、担任に相談する体制を作っている。また、コース、就職に関しては担当の職員がおり多方面での相談体制を取っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓生への支援体制をするための規定を作成し、学校と連携を強化し、組織的に応援する。</li> <li>・学費等の本校独自の奨学金制度は、検討中である。</li> <li>・学生生活や悩み事の相談体制を整備する。精神的な病気やコミュニケーション障害を持つ学生が増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀在校生奨学金実績として H27年度10名 総額28万円授与している。</li> <li>・進路選択において1年次より意識させ、自分の適性に合った職種を見出す指導をしている。また、卒業年次では、クラス担任、就職指導担当が支援している。</li> <li>・緊急性を伴う休校や学生への連絡には、SNSを使っ ての情報網を使用している。</li> <li>・優遇支援制度 平成27年度 13名115万円授与している。</li> </ul>
	学生が教職員以外に相談できる（カウンセリング）体制が整備されている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E	・校医、スクールカウンセラーは常駐していない。平成27年度より、市内のカウンセリングセンターと提携し、チラシパンフレットを配布しカウンセリングが受けられる体制を作っている。学生が利用しやすい環境を作る努力をしている。		
	学生に対する経済的な支援体制は整備されている。（優遇制度、奨学金制度等）	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共機関の奨学金制度を積極的に紹介している。また、その受領時期にあわせた学費納入方法も実施している。</li> <li>・経済的に困窮している学生に対しては、学費の支払いを一定期間猶予する制度がある。しかし、給付型、貸与型の奨学金のような金銭的支援援助は無い。</li> <li>・本校独自に定める優秀在校生に奨学金を授与している。 成績優秀者、社会人入学、高等課程一括納入、家族入学優遇制度</li> </ul>		
	学生の生活環境（アルバイト紹介、不動産会社等の紹介）の支援は行われている。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動と同様、アルバイトの紹介も学校を通じて紹介している。</li> <li>・入学説明会時にアパート、駐車場情報なども学生に伝えている。学生寮は所持していない。また、近辺に民間の学生寮も存在していないので紹介もしていない。</li> </ul>		
健康管理	学生の健康管理を担う組織体制がある。	<b>A</b> ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザやノロウイルスの予防にも努め、必要と判断した学生や職員には早期に病院で受診するよう促している。</li> <li>・年度初めに、健康診断を行っている。そこで再検査や要診断と判断された学生には、受診させている。</li> </ul>		
	定期的に細菌検査、健康診断を行っている。	<b>A</b> ・B・C・D・E			
課外活動	課外活動に対する支援体制は整備されている。	A・ <b>B</b> ・C・D・E	・調理技術コンクールへの参加を全面的にバックアップしている。（参加者の練習及び申請料等の全てを学校負担としている）		

	学生が課外活動(コンクール参加等)に出場することを推奨している。	<input checked="" type="radio"/> A・B・C・D・E	・学校に運動部等の課外活動は有していないが、競技種目にかかわらず、県大会以上の大会に出場することができる学生がいる場合は、サポートしている。		
卒業生	卒業生への支援体制(再就職や相談)がある。	A <input checked="" type="radio"/> B・C・D・E	・体制、制度はないが卒業生が相談に来たときは、真摯に対応している。再就職を希望する卒業生には、年に数件紹介しており、実績がある。		
	卒業生が在校生に対し、アドバイスや体験談などを説明する体制が整っている。	A <input checked="" type="radio"/> B・C・D・E	・店舗や企業で中堅、新人となる卒業生が来校した時には、ホームルームの時などに学生の前で仕事内容ややりがいなどを話してもらっている。 ・ロングホームルームなどで時間に余裕が出来た時には、卒業生を招聘し数名の卒業生に講義以来をしている。		

## 6 教育環境

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
施設・設備	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	<input checked="" type="radio"/> A・B・C・D・E	・施設設備整備は、常時確認しており、最新の設備を導入できるよう努力している。	・管理職員の外部勤務の時などに地震や火災が発生した時に各教員の行動の確認や体制にあわせた見直しをする。特に、勤続年数の少ない職員を対象にした学生の身の安全を確保する避難訓練をシュミレーションしておく。	・必修科目となる科目は当然のこととして課外授業においても、十分な教育体制を整備している。 ・平成28年度4月に、第1実習室を改装する。最新の焼き台(サラマンドル)やオープン(スチームコンベクション)を完備している。
	実習施設について十分な教育体制を整備している。	<input checked="" type="radio"/> A・B・C・D・E			
	インターンシップにおいて十分な教育体制を整備している。	<input checked="" type="radio"/> A・B・C・D・E	・本校の店舗実習、現場訓練を実施する施設とよく目的や指導方針を確認し、実施に当たっている。		
	海外研修について十分な教育体制を整備している。	A <input checked="" type="radio"/> B・C・D・E	・例年、西洋料理と製菓の現地講習会としてヨーロッパ研修を12月初旬に行っていたが昨年度のテロ事件により、自粛している。今後世界情勢を見据え、安全を第一に考え実施する方向で検討していく。		
環境教育	ゴミの分別、省エネ、リサイクルなど環境への関心を高める教育をしている。	<input checked="" type="radio"/> A・B・C・D・E	・水戸市の分別よりも厳しい基準でゴミの分別をするよう指導している。リサイクルについては完全に分別するようにゴミ箱を配備している。		
	校内清掃・校内美化に取り組みさせている。環境設備を大切にすることを育成している。	A <input checked="" type="radio"/> B・C・D・E	・生ごみについては、廃棄するだけでなくものによっては提携している「日本農業実践学園」へ運び、豚のえさとなるように処理している。		



## 7 学生の受入れ募集

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
募集活動	学生募集活動は、適正に行われている。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集においては誇大広告にならないよう十分に配慮し、また、入学志願者には昨年度までの実績を数字や表にして正確に伝え、見解の相違がないように最善を尽くしている。</li> <li>・学校のホームページに「学校情報の公開」として、適正な情報を公開し、閲覧できるようにしている。</li> </ul>		
	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。	Ⓐ・B・C・D・E			
入学試験 学費納入	入学生の選抜は厳正なものである。	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験は厳正に行っている。面接試験においては校長自らが面接に立ち会い学生の適性をみている。面接、内申書、作文等を加味し職員会議の後に合否決定している。</li> <li>・学納金は明確に募集要項に記載されており高額な追加費用は発生しない。また、学費納入金の納付期限も同様に記載されているので入学希望者が事前に把握できるようにしている。(教材費については、明細書も添付しており適切に徴収している。)</li> </ul>		
	学納金は妥当なものとなっている。	Ⓐ・B・C・D・E			

## 8 財務

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
財務関係	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生率低下による人口減少を見据えた財務体質の構築を検討している。</li> <li>・広報のエリア拡大と社会人入学者の奨学金制度の充実の検討を含む中長期的な計画作成と取組を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生率低下による人口減少を見据えた財務体質の構築 → 教員の派遣業務や外部調理講習会、イベントの実施等による収入源の確保 → 高校生に限らず低年齢層にも、食への関心を持たせ、調理に目を向ける活動をして、調理希望者のすそ野を広げる。</li> <li>・新会計基準においては、公認会計士事務所の指導により対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生数減少に伴い、募集広報の紙媒体のものからインターネットのWEB媒体スタイルへ変化させている。</li> <li>・現在は入学者の確保が安定しており、予算に基づく適切な収支バランスを保持している。</li> <li>・事業計画にのっとり、予算案を作成し、執行に際しても管理を徹底している。</li> </ul>
	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	Ⓐ・B・C・D・E			
	・財務について会計監査が適正に行われているか	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務関係については法人と学校を明確に区分し、適切に処理され、書類等も完備されている。</li> </ul>		
	・財務情報公開の体制整備はできているか	Ⓐ・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新会計基準による学校法人システムへの変換を平成27年度より実施している。</li> <li>・「学校情報の公開」として、財務関係の内容もホームページにアップしている。</li> </ul>		

## 9 法令等の遵守

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	A・B・C・D・E	・法令を遵守し運営にあっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価点検表をさらに細分化し、職員、学生、保護者にも項目チェックを行い。公正に評価されているかどうかを確認する。また、実施の時期、内容の見直し、小項目の作成などを随時検討していく。</li> <li>保険会社より指導頂き、個人情報の流出防止のためのガイドライン作成や罰則規定を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014年度から自己評価に基づく、学校関係者評価委員会を開催している。各分野の委員からの意見を学校運営に反映している。</li> <li>毎年年度末に指導部会議において検証し、評価する。内容については、その年問題とされた内容をクローズアップし、評価対象とする。</li> <li>第三者評価委員会（全国調理養成施設協会）の評価報告を受け高い基準でクリアーしている。別紙参照</li> </ul>
情報保護	・個人情報、学校情報に関し、その保護のための対策がとられている。	A・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報については、パスワードの毎年変更等の対策をとっている。</li> <li>個人情報を含む書類はすべてシュレッダーにかけて処理している。</li> </ul>		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の実施と問題点の改善を行っている。</li> <li>自己評価結果を公開している。</li> </ul>	A・B・C・D・E	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価においては、昨年までは本校の管理職以上が検討し評価していた。今年度からは、常勤職員全員に学校の自己評価を認識させ、職員の意識改革に臨んでいる。</li> <li>自己評価点検表を学校関係者委員会が評価し講評を得ている。</li> <li>ホームページに公開している。</li> </ul>		

## 10 社会貢献・地域貢献

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
社会貢献 地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	A・B・C・D・E	・各関係機関等のイベントには、率先して参加し、学生と地域社会が交流するよう心掛けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体や各関係機関のイベントは減少傾向にあるが、その誘いには積極的に参加し、学生も動員しての交流活動を行うように努力している。</li> <li>本校教員の勤務状況の問題にもよるが、年間行事予定で事前に食育教室を企画し、地域の小学校に案内状を送り実施できるよう努力する。またそれを習慣化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関のイベントには必ず「食育」をテーマにし小学生が興味を持つ内容を実施している。市の「まちなかフェスタ」では約600人の小学生にボランティアで「リンゴの皮むき体験」を実施した。平成24年度より毎年実施している。</li> </ul>
	・学生のボランティア活動を奨励、支援している。	A・B・C・D・E	・本校が主催して実施する料理教室などを行っており、地域社会に密着し社会貢献を行っている。		
	・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施している。	A・B・C・D・E	・県や企業、団体などの依頼を受けて地域の小中学校を巡回しての料理教室を実施している。		

# 1 1 国際交流

評価項目		適切・A ほぼ適切・B やや不適切・C 不適切・D 該当なし・E	現状の認識、及び 評価	・課題と今後の改善策	特記事項
留学生	・留学生の受け入れ・派遣を行っているか	A・ <b>B</b> ・C・D・E	・現在、留学生に向けてのパンフレットや募集要項の作成はしていない。今後、必要に応じて留学生向けのパンフレットや募集要項の作成を行う	・海外留学生の入学実績を作るために、日本語学校や国際交流イベントを訪れて広報活動を実施するべきと思うが、留学生が卒業後、日本で働くことのできるビザを入手することが難しいことから、多くの希望者が望めない。	・茨城県国際交流課の依頼でアルゼンチンとブラジルから各1名計2名を研修生として4か月間受け入れている。(平成26年) ・平成28年度も同課からの留学生の依頼を受けている。
	・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	<b>A</b> ・B・C・D・E	・留学生の入学実績が少ないが、発生した場合は適切に処理している。		
海外研修	・海外での研修、提携校があるか。また、評価される取り組みを行っているか。	<b>A</b> ・B・C・D・E	・海外留学の提携校はあるが、実際の留学在校生や卒業生は少ない。 ・イタリア1校、フランス2校の調理・製菓学校と提携している。海外研修にてヨーロッパへ渡航する際には、研修を実施している。 ・例年、西洋料理と製菓の現地講習会としてヨーロッパ研修を12月初旬に行っていたが昨年度のテロ事件により、自粛している。今後世界情勢を見据え、安全を第一に考えて検討していく。		